

新しい年が始まり、早一ヶ月が経ってしまいました。コロナ感染は少なくなってきてはいますが、インフルエンザや下痢嘔吐などの感染症の流行に息を抜くことができません。

昨年秋、長野で行われた全国研修会では、3年越しの計画で実際に顔を合わせての学習会が出来感無量でした。長野地区の皆様本当にご苦労様でした。ロシアによるウクライナ侵攻や、軍備拡大に走る日本などの世情の中で、“平和”をテーマに行われたこの研修会はとても意義深いものでした。講師の中のお一人窪島さんの話された“地球が誕生して45億年の歴史の中のたった100年ほどしか共に生きられない人間が、何故争いや戦争をしないといけないのか”という言葉が深く心に残りました。参加した若い職員たちからは、“無言館の絵や展示物から、すべてを捨てて戦地に行かざるをえなかった一人の人とその人を取り巻く周りの人たちの思いがひしひしと感じられ、改めて戦争と平和について考えさせられた”などの感想が話され職員間で共有しました。

昨年東海地区では新型コロナの流行で時期は違いましたがどの園も休園せざるをえない状況に陥りました。そんな中でも各園それぞれ工夫しながら保育をし、年長交流では変更もありましたが、地域や各園の感染状況を見ながら日帰り交流や合宿を行い、お互いに協力して育ち合ってきました。そして新しい年を迎え年長は秒読みの保育です。今年度は1月の雪合宿後5回日帰り交流をして5園揃ってお祝い会を迎える予定です。今回東海地区は冬の時期の各園の様子をお伝えしたいと思います。

平和の取り組み(学童高学年)

恵の実保育園(愛知県豊川市)

11月18日(金)から21日(月)まで、恵の実学童の6年生が三泊四日の『沖縄平和の旅』に出かけました。訪ねた場所は、ひめゆり平和祈念資料館、平和記念公園(韓国人慰霊の塔も含む)、嘉手納基地、シムクガマ、チビチリガマ、読谷村役場、残波岬、座喜味城址、サトウキビ畑の歌碑、ジュゴンの里(辺野古)です。『うたごえペンション まーみなー』に宿泊し、会沢芽美さんのガイドで戦跡を周りました。

例年、可能な限り親子で参加するようにし、大人も現地を見て学ぶことを大切にしています。帰ってから書いた子どもの作文には「戦争はいけない。日本人は勉強しておけばよかった(国際法のこと)。」と書かれていました。

その後、12月3日(土)に水野スウさんをお呼びし、憲法の話を行いました。この学習会には、5・6年生の他に、園児世帯、学童世帯の大人も参加しました。

そして12月10日(土)～12日(日)には、同じく6年生で長野県の松代大本営、無言館、満蒙開拓団資料館を訪ねました。長野県と沖縄は縁遠いようですが、実は深いつながりがあります。沖縄戦が何のためにおこなわれたのか、沖縄の悲惨さを知った上で長野の戦跡を見ると、人の命をなんとも思わない戦争の実態が見えてきます。後に昭和天皇が長野を訪問した際に「無駄な穴を掘った所はどのあたりか」と長野県知事に軽々しく尋ねたと言います。強制連行された7千人ともいわれる朝鮮人たちが無駄な穴を掘って無駄な「死」をしたことなど、天皇にも知らされていなかったのでしょう。沖縄と長野を訪ね、主権在民の日本国憲法を学び改めて戦争の愚かさ、平和の尊さを学んだ高学年平和の取り組みでした。



クリスマス会

たけのこ保育園(静岡県島田市)

12月17日(土)に保育園のホールでクリスマス会を行いました。

11月末、山梨から大きな大きなモミの木が届き、お父さんたちが綿で雪化粧をしてくれました。子どもたちはクリスマスに向けて、散歩で採ってきた葉っぱや木、木の実でクリスマス飾りを作り、ワクワクしながら当日を迎えました。素敵に出来た飾りはホールに飾り、クリスマス会でお父さん、お母さんに披露しました。

今年の年長保護者の出し物は、「てぶくろ」の劇。お父さん、お母さんが力を合わせ、大道具から衣装まで手作りし、歌や踊りありの楽しい劇で、小さい子から大人まで楽しみました。

職員サンタのため、サンタさんとの触れ合いは出来ませんでしたが、子どもたちは目を輝かせてサンタさんからもらったプレゼントを嬉しそうに抱えていました。

0歳児はマリ、1～5歳児までは発達に合わせたコマを貰い、早速遊ぶ子どもたち。帰りにクリスマスクッキーのお土産を貰い、素敵なクリスマス会となりました。



2022年のクリスマスも賑やかに

おひさま保育園(愛知県名古屋市)

今年も12/23にクリスマス会が行われました。保育士さんによる音楽会を聴き、リズムの布に乗るそり遊びを楽しみました。音楽会の最中に外から♪シャンシャン♪と、鈴の音が聞こえてきました。(ここからはフィクションの世界です)隣接する大高城跡公園に裸足で駆け出す子もいました。皆で公園を一回りしたら、木の上に白い大きなプレゼントがあり、力をあわせて保育園に運びました。一人ずつプレゼントを頂き、お顔も心もほっこりでした。学童さんはお昼の会食会から参加。今年も給食さんが創意工夫で美味しいクリスマスのご馳走を作ってくれました。おやつには学童さんがグループに分かれてクリスマスケーキのデコレーションを行い、保育園の皆はどのケーキを食べたいかと覗きこみ、目をキラキラさせていました。夢と希望がある温かい一日でした。



ひさしぶりの餅つき

つばさ・つばさこ保育園(愛知県新城市)

つばさ・つばさこ保育園の定番の年末の交流行事『餅つき』はコロナ禍で2年間でできませんでした。新しい園児たちは経験もなく、親さんたちも「もちつきを見たい」という希望があり仕事納めの28日に大掃除を片方でやりながら取り組みました。「つきたてのモチはとってもおいしい」と言ってみんな大喜び。鶏汁も大鍋で作り、竹で作った器と箸で食べました。コロナ禍で外で親子そろってのイベントはいままでできなかったため、みんな久しぶりの笑顔!!餅つきで楽しい一日を過ごすことができました。

蓮華の家共同保育園(愛知県岡崎市)

年末にかけて新型コロナウイルスの影響により、毎年年末恒例の相撲餅つき大会が延期。2月に無事開催することができました。



雪合宿(長野県小谷村)

おひさま保育園・つばさこ保育園・蓮華の家共同保育園 合同

3園揃って19人、寒波と言われているのに雪が少ない長野県小谷村でしたが、年末からの残雪や屋根雪をソリで運び、雪を固めて子どもたち19人全員が中に入れる かまくら を造ることができました。3日目には待望の雪が積もり、新雪の中を散歩。雪まくりをしたり、みんなの身体で雪の天使を作ったり、狐の足跡を見つけたり、つららを食べたりして雪の世界を楽しみました。ソリ遊びでは園を越えているんな子たちと一緒に滑り、大人対子どもの雪合戦では大人が真剣に向かって行っても負けずに向かってくる子や攻撃されている子を見つけると助けにくる仲間が次々といて、子どもたちの逞しさと集団の力に子どもに軍配が上がりました。野俣さんのギターと歌入りの「三コ」の語りは心に沁み入り、大人も子どもも達成感と満足感たっぷりの雪合宿でした。

